

- 01 一般工業用
圧力調整器
- 02 分析機用・半導体用
圧力調整器
- 03 ガス供給ユニット・
集合装置
- 04 ガス供給ユニット・
集合装置関連機器

05
その他装置

- 06 液化ガス蒸発器
- 07 自動切替
減圧弁・装置
- 08 高圧ガス用継手
- 09 溶断器・
アクセサリ
- 10 計器
- 11 参考資料・データ

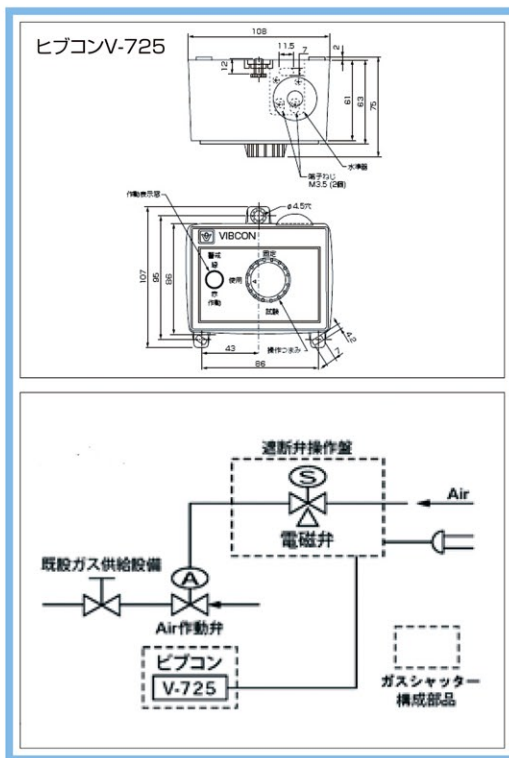
地震用緊急遮断弁
操作盤ガスシャッター
小型混合器ミックボーイ
150MPa
ブースターユニット
YHB-150F
45MPaブースター
昇圧ボーイ BT-45

地震用緊急遮断弁操作盤 ガスシャッター

大地震——それはまさしく天災です。

しかし、それによって発生が予測される第2次災害を防止、または最小限に食い止めることは、我々の責務ではないでしょうか。

地震をすばやく感知して二次災害の低減にお役に立ちます。



地震発生時、感震装置(ヒブコン)が、揺れを感知し、その信号を操作盤で制御し、エアー作動弁を閉止することにより、ガスの供給を遮断します。

製品構成

- 遮断弁操作盤
- 感震装置「ヒブコンV-725」
(設定加速度100~170ガル)東京消防庁認定品。
[参考]震度5:80~250ガル
- 信号入力用コード(10m)一次側電源コードは含んでおりません。
- 電磁弁作動圧力約0.5MPa
- エアー出入口接続:1/4 O.D.(φ6.35mm)チューブフィッティング
- 電源AC100V

新震度階級(1996)		旧震度階級(1949)		
震度	計測震度	震度	呼称	加速度(Gal)
0	0.5未満	0	無感	~0.8
1	0.5以上1.5未満	1	微震	0.8~2.5
2	1.5以上2.5未満	2	軽震	2.5~8
3	2.5以上3.5未満	3	弱震	8~25
4	3.5以上4.5未満	4	中震	25~80
5弱	4.5以上5.0未満	5	強震	80~250
5強	5.0以上6.0未満			
6弱	5.5以上6.0未満	6	烈震	250~400
6強	6.0以上6.5未満			
7	6.5以上	7	激震	400~

■ ガスシャッター用途

【タイプ1】 CE等の固定タンクから配管にて供給しているユーザー

このタイプは設置時に緊急遮断弁を設置することが法令で義務付けられていますので元々窒素またはエアにて駆動する緊急遮断弁が付いています。

ただ殆どが基本的に手動にて操作するものですので、地震によって自動的に遮断する「ガスシャッター」を窒素またはエア配管の途中に入れることになります。

【タイプ2】 ボンベを集合させて配管にて供給しているユーザー（ガス集合装置）

このタイプでは、配管途中に緊急遮断弁（エア作動弁）を取付けてから「ガスシャッター」との間にエア配管する必要があります。

■ 作動後の復帰する際の注意事項

- ガス供給設備に損傷が無い確認して下さい。
- 窒素等の不活性ガスでガス供給設備の気密試験を行い、漏洩が無いを確認して下さい。

■ 遮断弁操作盤及びビブコンの設置場所に関して

- 可燃性ガス装置にガスシャッターを使用される場合は、遮断弁操作盤およびビブコンを可燃性ガス装置より8m離れた場所に設置して下さい。
一般高圧ガス保安規則第6条3項
- 防滴仕様ではありません。屋内に設置して下さい。
- ビブコンは水平に取付けて下さい。
- オプションでビブコン2箇所設置も可能です。



ガス充填所でのガスシャッターの設置例